

2 月度技術士 CPD ミニ講座（平成 28 年度 第 71 回）

場 所：日本技術士会 近畿本部 会議室（近畿富山会館 2 階）

テーマ：防災・減災のための実践を踏まえた地域・地区防災活動
～住民・行政・企業・技術士の関わり～

主 催：近畿本部研修委員会 共催：CPD支援委員会

参加費：正会員 1,000円 準会員 500円 非会員 2,000円

定 員：先着 20名（定員になり次第締切）

内 容：

講演1 「防災・減災活動における行政との連携」

向井通彦 氏 〔前泉南市市長、NPO都市災害に備える技術者の会 顧問、
泉南市防災技術者の会 副会長〕

技術士が防災・減災活動に積極的に参加していくことが重要であり、社会貢献できる分野である。一方、行政も技術系団体、グループの応援や助言、参加を期待している。特に災害に備える準備や防災教育等について、技術的な立場から指導や助言を行うことが説得力があり有効である。また災害発生時の混乱期における初期活動についても行政との連携が不可欠である。技術者として、また行政の長としての経験から行政との連携について説明する。

講演2 「民間専門家活動組織による防災・減災活動」

中佐一重 氏 〔ユエヌ土地利用研究所 所長、泉南市防災技術者の会 会長、
兵庫まちづくり専門家（兵庫県都市整備協会）、大阪市ハウジングアドバイザー、八尾市街づくり専門家〕

防災まちづくりに係る民間の技術者がその活動の中で行政と連携をとりながら、防災・減災に向けた市民を巻き込んだ活動として展開していくことは「防災まちづくりの理論と実際」をどのように融合、実践していくかという視点から重要である。この点に立脚して、主に泉南市防災技術者の会の活動、行政の支援活動の経験を通して説明する。

申込方法：ホームページの「申込書」をクリックしてご利用ください。